

平成 30 年 6 月 19 日
国民民主党・新緑風会 藤田 幸久

参議院外交防衛委員会質問要旨

1. 6月14日の辺野古付近のサンゴの環境保全に関する市民団体などからの防衛省に対する質問でN3護岸付近に大型サンゴが存在するとの指摘があるがどうか？
【小野寺防衛大臣】

2. 米朝首脳会談について 【河野外務大臣】

1) 河野大臣は、17日のNHKの番組において、「非核化」が文書に盛り込まれ、金委員長が署名したことが大きいと述べたが、政府は今回の会談が、日本にとって何がよかったと評価しているのか、また日本にとって何が問題であると評価しているのか？

2) ポンペオ長官は米朝共同声明における「完全な非核化」は検証を含むと説明しているものの、CVIDが文言として盛り込まれていないのは事実である。政府はこれをどのように認識しているのか？

3) 日米韓外相会談後、河野大臣は「これからの状況についてやりとりを行い、ほぼ全ての点で日米一致をしている」と述べた。ポンペオ長官は約2年半という期間を示したが、この期間にどのようにして非核化し、検証するのか？

4) 安倍総理は、非核化の査察でIAEAへの財政支援に言及しているが、支援の総額と期間をどう想定しているのか？また、総理は16日のテレビ番組で国際社会が資金拠出する枠組みをつくる可能性について言及したとされるが、具体的にはどのような構想があるのか？

5) トランプ大統領による在韓米軍の撤退や縮小、米韓合同演習の中止などの発言の真意をどう認識しているのか？また日本に対する影響は？

【河野外務大臣及び小野寺防衛大臣】

6) 共同声明にある「平和体制」の英語の言語の regime と、政権の体制維持という場合の regime の意味の違いは何か？

7) 世論やメディアを支配できる北朝鮮に対して、11月の中間選挙や、9月の自民党総裁選挙というデットラインのある民主主義国は、交渉上不利にならないか？

8) 「日朝首脳会談は、拉致問題の解決につながる会談でなければならない」と首相や河野大臣は発言しているが（例えば平成30年5月14日参議院予算委員会、安倍首相答弁）、米朝会談は「解決をもたらす」というより、解決に向かう第一歩というような性格の会談であった。河野大臣は17日のNHKの番組に

において、米韓合同演習中止に関し、「北朝鮮が善意ある態度で交渉している限り、善意で報いるということ」と述べたが、日朝首脳会談も、「善意と信頼醸成」から始める方法は取らないのか？

9) 河野大臣は「日朝会談は成果につながる準備ができてから」とも述べているが、今回の米朝会談ではどんな準備によりどんな成果があったと認識しているのか？

10) 2002年の小泉訪朝前に北朝鮮赤十字から日本赤十字に対して送られた親展の親書を外務省が無断で開封した点や、拉致被害者の皆さんの一時帰国という合意を日本側が破ったと北朝鮮側が認識している点をどう克服するつもりか？

11) 日朝国交正常化による経済支援を、1965年の日韓正常化の同レベルで計算すると総額をいくらで想定すべきか？